お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止 **器具の改造や指定部品以外の交換はしない。**（火災・感電・落下の原因）	禁止 **器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。**（火災・感電の原因）

⚠注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止 **お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。**（火災・感電の原因）	禁止 **光を直視しない**（長時間直視すると目を痛める原因）
禁止 **器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。**（過熱して火災の原因）	厳守 **明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。**

●**照明器具には寿命があります。設置して８～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。**
※使用条件は周囲温度30℃､1日10時間点灯､年間3000時間点灯です。
●点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。
●本器具は周囲温度が35℃以下で使用するよう設計してあります。高温での使用は短寿命、故障、発煙の原因となります。
●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。

器具の清掃

⚠警告 **電源スイッチを切ってから行う**（感電の原因）

＜器具のお手入れについて＞
器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

⚠注意
点灯中及び消灯直後の器具には触らない。
（高温のためやけどの原因）

保証について

■無償修理
照明器具の商品納入日より１年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは３年間です。

■無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを５年間無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。
（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

連絡先 三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業本部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI
三菱 LED 高天井器具用部品

E763Z913H50

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

形名 **EL-X0037**（下面ガード）
EL-X0038（ガード付拡散カバー）
EL-X0039（全体ガード）

適合器具
EL-C15002N　EL-C15003N
EL-C20000N　EL-C20001N
EL-C30000N　EL-C30001N

取扱説明書

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	**30°を越える傾斜天井、補強のない天井には取付けない。**（火災・落下の原因）	禁止	**配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。**（絶縁破壊により感電・火災の原因）
禁止	**引火する危険のある雰囲気で使わない。**（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	厳守	**施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。**
禁止	**器具取付けの際は電線を挟まない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）		

⚠注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**高温、高湿度（85% Rh を超える）、粉じん、油煙のある場所、振動・衝撃のある場所で使わない。**（落下・感電・火災の原因）	禁止	**雨水のかかる場所で使わない。**（水気・湿気が入り感電の原因）
禁止	**さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。**（劣化による落下の原因）	禁止	**表示された電源電圧以外では使わない。**（火災・感電の原因）
禁止	**風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。**（火災・感電の原因）	禁止	**狭い箱のような中で使わない。**（器具が過熱して火災の原因）

お願い

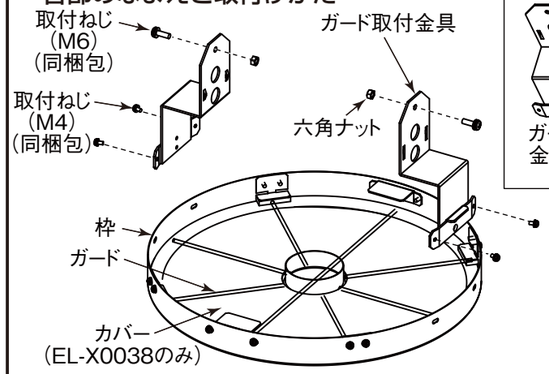
■周囲温度は－10℃～35℃以下でご使用ください。
■温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。
光学特性等に不具合が発生することがあります。

この取扱説明書は同種類のガードと共通になっていますので、お求めのガードと姿図が違っている場合があります。

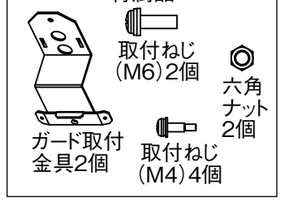
E763Z913H50

EL-X0037，EL-X0038 - ⚠警告 ガードの取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、落下の原因）

各部のなまえと取付けかた



付属品



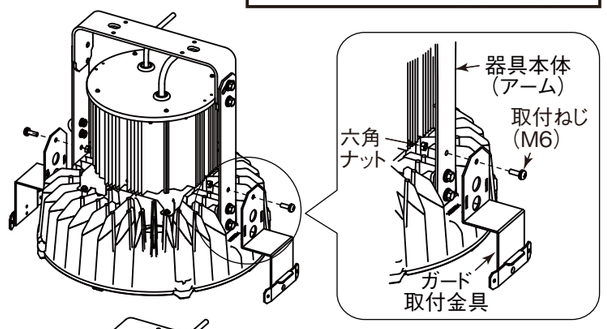
※取付前の確認
ガード及び器具質量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

⚠警告
ガード、器具本体の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

1 ガード取付金具を器具本体に取付ける

ガード取付金具は、取付ねじ（M6）２本と六角ナット２個を使用して器具本体のアームに取付ける。（推奨締付トルク 1.0 ～ 1.2 N･m）

⚠警告
締付けは確実に行う。
（締付けが不完全な場合、落下の原因）

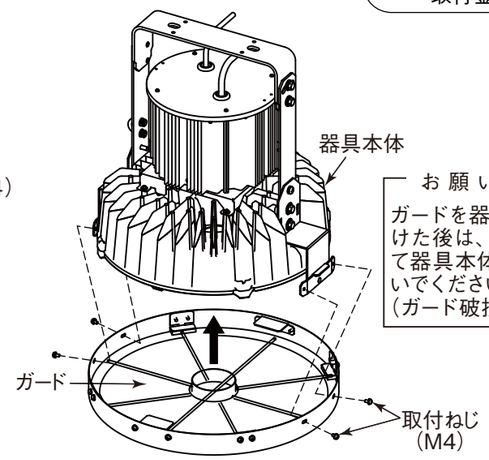


2 ガードを器具本体に取付ける

器具本体の下側からガードを取付け、取付ねじ(M４)４本を使用してガードと器具本体を固定する。（推奨締付トルク 0.6 ～ 0.8 N･m）

⚠警告
締付けは確実に行う。
（締付けが不完全な場合、落下の原因）

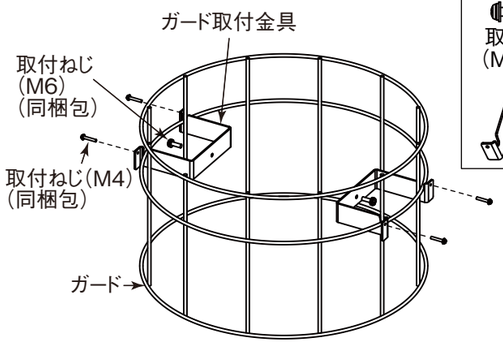
お 願 い
EL-X0038 は組付け時にカバーを傷つけないようにしてください。



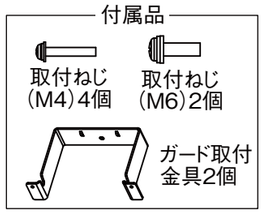
お 願 い
ガードを器具本体に取付けた後は、ガードを持って器具本体を持ち上げないでください。
（ガード破損の原因）

EL-X0039 — ⚠警告 ガードの取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、落下の原因）

各部のなまえと取付けかた



付属品



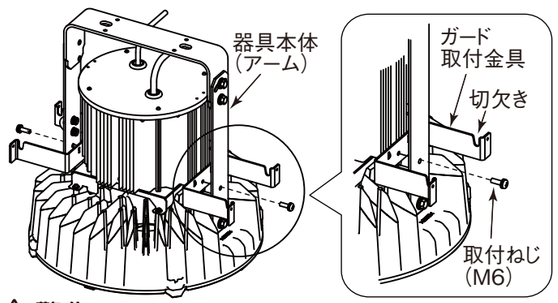
※取付前の確認
ガード及び器具質量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

⚠警告
ガード、器具本体の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

1 ガード取付金具を器具本体に取付ける

ガード取付金具は、取付ねじ（M6）２本を使用して器具本体のアームに取付ける。（推奨締付トルク 1.0 ～ 1.2 N･m）

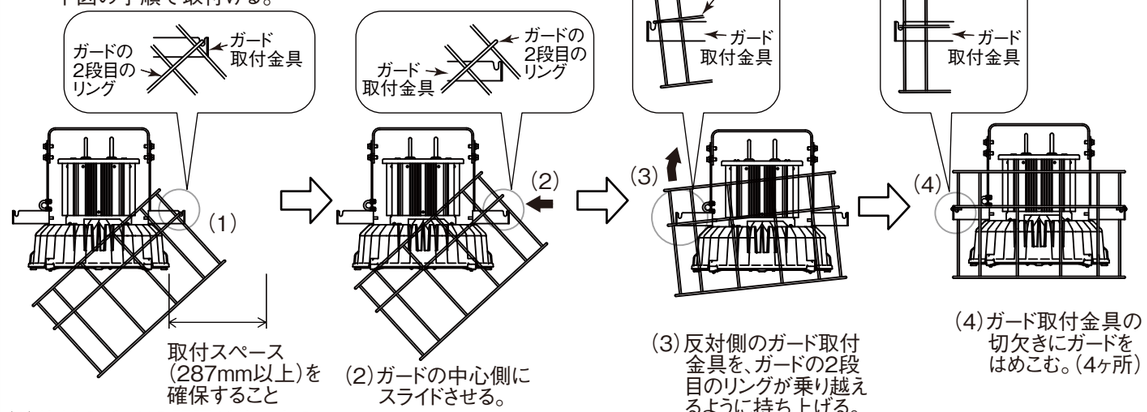
図のように、ガード取付金具は、切欠きのある方を上にして器具本体のアームの内側に取付ける。



⚠警告
締付けは確実に行う。（締付けが不完全な場合、落下の原因）

2 ガードをガード取付金具に取付ける

※本ガードには方向性があります。
下図の手順で取付ける。



(1)片側のガードの間隔が狭い方の2段目のリングがガード取付金具を乗り越えるように斜めにガードを挿入する。

(2)ガードの中心側にスライドさせる。

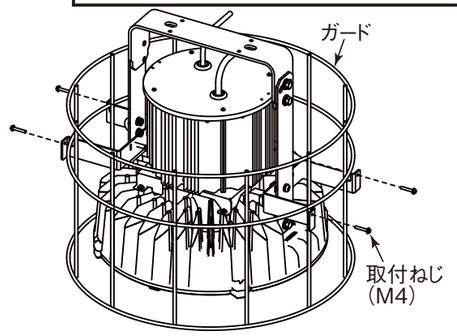
(3)反対側のガード取付金具を、ガードの2段目のリングが乗り越えるように持ち上げる。

(4)ガード取付金具の切欠きにガードをはめこむ。(4ヶ所)

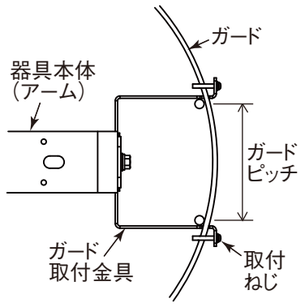
3 取付ねじにてガードを固定する

取付ねじ（M４） ４本を使用してガードを固定する。
ねじ先がガードのリングの上を通るように確実に取付ける。
また、ガードピッチが取付金具の内側を通るように取付ける。
（推奨締付トルク 0.6 ～ 0.8 N･m）

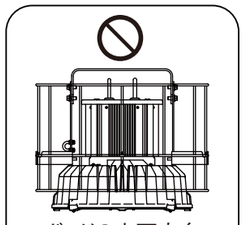
⚠警告
締付けは確実に行う。
（締付けが不完全な場合、落下の原因）



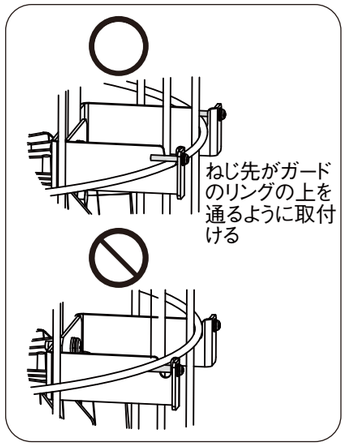
お 願 い
ガードを器具本体に取付けた後は、ガードを持って器具本体を持ち上げないでください。
（ガード破損の原因）



取付部を上から見た図



ガードの上下方向に注意する



EL-X0037,EL-X0038 と EL-X0039 を組合せる場合 — ⚠警告 ガードの取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、落下の原因）

図のように、器具本体のアーム内側を通したEL-X0039用取付金具に、EL-X0037、EL-X0038用取付金具を取付ねじ（M6）２本を使用して、確実に固定し、各ガードを取付ける。（推奨締付トルク 1.0 ～ 1.2 N･m）

⚠警告
締付けは確実に行う。
（締付けが不完全な場合、落下の原因）